ふくろう新聞

＜発　行＞
特別養護老人ホーム
淡路ふくろうの郷
広報委員会
洲本市中川原町
中川原28番地1
TEL:0799-25-8550
FAX:0799-25-8551

中川原保・小・中合同運動会に

9月13日（土）に開かれた、地元中川原の保育園・小学校・中学校合同の運動会に招待され、参加しました。

天候にも恵まれ、入所者さんたちは、園児のかわいらしい演技や、児童・生徒のはつらつとした演技をご覧になり、気持ちよさそうでした。

また、昨年同様、児童のみなさんと「紅白玉入れ」で楽しみました。

今後安乎小学校6年生19人との交流があり、11月4日（火）には来所され、11月25日（火）には学校で机を並べて授業を受けたり、給食を共にします。

（介護：角村）

↑　子供たち！がんばれ！がんばれ！

いよいよ、10月26日(日)に、ふくろう・ふれ愛まつりが開催されます。入所者は阿波踊りの練習を頑張っています。まつりでは入所者による劇やたくさんの模擬店も並び、とても楽しみにしています。みなさん是非来てくださいね！

お米の話題

だんだん涼しくなってきました。黄金色に色付いていた稲の稲刈りもほとんど終わりました。

今年のお米の出来はどうだったのでしょうか？

また昨今話題の汚染米などの問題について、いつも新鮮な野菜を届けていただいている中川原地区市原青空会の国田さんにお話を伺いました。

Q．今年のお米の出来はどうですか。

A．今年は夏の日照りがきつく、稲の世話がとても大変でしたが、全国的には豊作と聞いています。

Q．話題のメタミドホスの汚染米、メラミン混入などの食の問題についてはどうでしょうか？

A．中川原地区では米は大半が自給自足なので安心ですが、加工食品となるとわかりません。毎日口にするものなので怖い話です。買い物するときは気をつけなくてはと考えさせられます。

Q．いつも新鮮でおいしい野菜を届けていただいて、入居者さんも喜んでいます。

A．ありがとうございます。市原青空会では地産地消を目的とした野菜作りをしており、減農薬野菜です。「新鮮でおいしい」との声を聞くと頑張ってつくろうと力が湧いてきます。おいしい野菜を作って皆様に喜んでいただけるよう全員で努力していきます。今後ともどうぞよろしくお願いします。

（調理：岩林寛子）

もりだくさんの敬老の日

兵庫県ろうあ者敬老会（兵聴障協会）

9月15日（月）、神戸市の兵庫県聴覚障害者センターで第22回兵庫県ろうあ者敬老会が開催され、ふくろうの郷からは、神戸から入所されている6名が参加されました。

その参加者の中のお一人が大正13年2月生まれで84歳になる松崎敬治さん。

↑友と語らう松崎さん（右）

松崎さんは明石市で育ちましたが、ふくろうの郷に来られる前は、ご夫婦とも須磨区の老後老人ホーム「神戸市和光園」で暮らしておられました。15歳の頃は日中戦争が始まっていて、松崎さんは、長田区にあった「ミナト精機」で飛行機の部品を作る仕事に励んだといいます。垂水区の県立聾学校中学部を卒業直後でした。戦後は、洋服の仕立てやクリーニング店で汗水流して働きづめだったとおっしゃいます。

その松崎さんが、神戸での敬老会に行きたいと強く希望され、奥様とも一緒に参加されたのです。

敬老会では同時代に苦労した知人友人との語らいのひと時を心ゆくまでたのしまれました。

ひどい貧血などで輸血によって命を支えておられる松崎さんが、こうした交流を通じて、ご自分の病気や老いとしっかりと向き合っておられる姿に、介護職員は多くを学ばされます。

（介護：山本）

敬老旅行（淡路聴障協会）

9月15日（月）、16日（火）と大きな天気の崩れもなく、福井、石川、岐阜の3県にまたがり、淡路ろうあ協会主催の敬老の集いに入所者8名と一緒に参加してきました。

観光そっちのけで買い物にいそしむ福島豊子さん。

「写真を撮ってくれ！」と自分のカメラで思い出作りを楽しむ北川他久美さん。皆さんそれぞれに、普段とは違った入所者さんの様子を見ることができた旅行となりました。

また機会があれば施設の外へ出て、入所者さんと一緒に楽しみを分かち合いたいと思います。

（相談：濱田）

敬老上映会（ふくろうの郷）

9月16日(火)、ふくろうの郷の地域交流スペースでチャップリン主演の映画「街の灯」を上映し、入所者の皆さんに鑑賞していただきました。

チャップリンのコミカルな演技に入所者の皆さんからは笑い声が絶えませんでした。

職員としては、映画の上映は初の試みで、入所者の皆さんに喜んでいただけるか不安だったのですが、十分楽しんでいただけた様子で安心しました。

これからも入所者さんに楽しんでいただける催しを企画していきたいと思います。

（介護：角村）

新しい法人役員の改選

理事長
三根　一乗　洲本市・医師

理事
須磨喜三郎　宝塚市・無職
白水　祥文　洲本市・無職
橋詰　武久　あわじ市・自営業
池上むつみ　三木市・県職員
大矢　暹　洲本市・施設長
小林　泉　豊岡市・施設職員
本郷　善通(新任)　西宮市・会社員

監事
立石由紀男　神戸市・税理士
村井　義忠　明石市・団体職員

評議員(理事を除く)
嘉田　眞典　三田市・団体職員
水田　俊子　加古川市・無職
斉藤　勇　南あわじ市・会社員
萩原　数一　姫路市・自営業
朝倉　宏　神戸市・無職
湊　百江　洲本市・団体職員
平野　俊和　洲本市・無職
広地タマヘ　洲本市・団体職員
長塚　寿子　洲本市・無職
八木　勝光　洲本市・施設職員
和田　幸子(新任)　神戸市・無職

（新任）和田幸子氏

（新任）本郷善通氏

よろしくお願いします

任期は２年間です
（20年9月26日から22年9月25日まで）

研修報告

うつ病者を出さない働きやすい職場へ

心労のためうつ病になりましたが、しばらく休職したのち職場復帰した私自身の例を、ろう職員の専門性を考える研修会(埼玉)で発表しました。

他の施設の話しも聞きましたが、福祉施設では、職員がうつ病になったり休んだり辞めたりする例は多いと聞きます。

ただ、うつ病になって休んだのち復帰した例はないとのことで、私の発表はいい参考になったようです。

他の施設では職員のメンタルケアという面ではまだまだ遅れている、ふくろうの郷は他の施設よりも進んでいるのではないかと感じました。

（介護：涌井）

デフ会の役割

埼玉では、聴覚障害職員としての施設での実践や取り組み「デフ会」について発表しました。

デフ会とは、聴覚障害をもつ職員が集まり、自分達が働く職場をよりよいものにしていこうと考える集まりです。

健聴職員と入所者とのパイプ役になる、聴覚障害を持つ入所者の思いを代弁する役割があるのではないか、など議論しました。

京都のいこいの村や大阪のあすくの里にもデフ会があり、京都や大阪の方がより進んだ内容を発表していて感心しました。

ふくろうの郷も頑張らなければならないと思いました。

（介護：岩林雅子）

■花房　ふさ子　さん
大正15年10月11日
(82)

■丸山　すゑ子　さん
大正12年10月21日
(85)

家族の会発足準備会

↑熱心に話し合っています。

今年で3年目をむかえるふくろうの郷では来年3月発足に向け、9月20日(土)に「家族会発足準備会」を開きました。

7名の入所者さんのご家族の方にご参加いただき、家族会の必要性、意義について様々な角度から意見をだしていただきました。

よりよい家族会の設立を目指して今後も意見交換を続けていきたいと思っています。（相談：濱田）

↑手製のはがき

↑ふくろうバッチ

ふくろう工房です

ふくろう工房では、入所者さんが毎日熱心にしごと（作業）に取り組んでいます。製品のいくつかをふくろうまつりで販売します。入所者さんの日頃の成果をどうぞご覧になってください。どうぞお買い求めください。

淡路ふくろうの郷職員募集

一般正規職員
募集職種：介護職・看護職・総務職
給与待遇：当法人規定による
採 用 日：２００９年４月１日
応募資格：年齢概ね３５歳まで、有資格者優遇
　　社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員、
　　ホームヘルパー、手話通訳士、看護師、准看護師など
選考方法：書類（履歴書、小論文「ふくろうの郷で私のめざすのもの」
　　1000字以内）締切　２００８年１１月２２日必着
第一次試験　２００８年１１月３０日（日）一般教養・専門知識
第二次試験　２００８年１２月２０日（土）面接
　　決定通知は１２月末日、本人宛郵送で通知

第3回　ふくろう・ふれ愛まつり

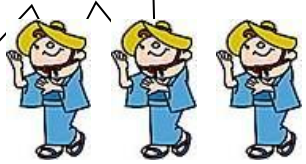
平成20年10月26日（日）10:30～14:30

舞台発表
- 志知高校　和太鼓
- ふくろうの郷入所者による劇「桃太郎」
- 中川原保育所「踊り」
- 中川原小学校「一輪車」他

模擬店（予定）
- 海鮮焼
- そばめし
- おでん
- 焼肉
- ちぢみ焼
- 池田のピンス焼き

etc…

最後は みんなで 阿波踊り！



お問い合わせ・・・

淡路ふくろうの郷　担当：足立・濱田
TEL：0799-25-8550　FAX：0799-25-8551